



中部電力
Chubu Electric Power Group

CHUDEN PRESS

2020 WINTER / NEWS & TOPICS

「でんきの科学館」
10/31に「電気の旅」エリアが
リニューアルオープン



▲▼リニューアルオープンした「でんきの科学館」3F「電気の旅」エリア



1 SERVICE

体験・参加型展示館「でんきの科学館」

リニューアル4カ年計画完了

「楽しく科学や電気とふれあう広場」をスローガンに、小学生から中学生を対象に、親子で楽しめる展示館として、中部電力が運営している「でんきの科学館」。

2020年度は、コロナ禍の状況下で、人数制限をしながら運営していますが、10月31日(土)に、新しい展示物が完成し、リニューアルオープンしました。

今回リニューアルオープンしたのは、3階の「電気の旅」エリア。

「電気の旅」をテーマに、燃料調達からご家庭に電気が届くまでの流れを、ジオラマや実物の電力設備、模型などを使って紹介しています。
(詳しくは左ページで紹介)

館内では、展示館スタッフとともに、楽しく学べる参加型の実験ショーや工作、アトラクションなど、好奇心や気付き、発見を引き出す展示や各種イベントを用意しています。

でんきの科学館



利用案内

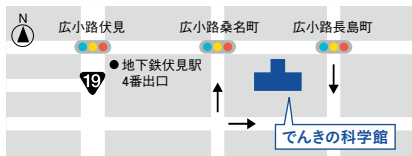
入場料 無料

休館日 毎週月曜日

※祝日・振替休日の場合は翌日、

第3金曜日、年末年始(12/29~1/3)

開館時間などは、でんきの科学館ホームページをご覧ください。



住所：名古屋市中区栄二丁目2番5号

② EXPLAIN 【解説】

でんきの科学館3F「電気の旅」エリア/ゾーン紹介

ジオラマや模型、遊具型展示で、

体感しながら学ぶことのできる「電気の旅」

「電気の旅」エリアでは、電力設備についての展示だけでなく、「電気の旅を支える人」にも焦点を当て、災害復旧や日常的な保守・点検、訓練の様子について紹介しています。

また、実物の電力設備の展示から、設備の大きさ、重さ、高さなどのスケール感を、よりリアルに体感しながら学んでいただくことができます。



▲地上100m電気の旅

送電線とスパーサ(送電線同士が接触しないようにする金具)を模した遊具型展示。足元には、地上からおよそ100m地点から撮影した動画が投影されていて、送電鉄塔の上で作業をする電力マンの目線を体験することができます。



▲ジオラマたんけんAR

燃料調達からご家庭までの「電気の旅」をジオラマで表現。AR(拡張現実)モニターを覗くと、各設備の役割や仕組み、また保守・点検や災害対応などの電力マンの仕事の様子が、画面上に現れます。



◀きみも電力マンになろう

配電部門の訓練の様子が、トリックアートになっています。カメラで撮影することで、まるで電力マンと一緒に訓練しているような写真に。子ども用の作業服もご用意しています。



▲高所作業車

高所作業車の模型に乗車し、疑似乗車体験ができる撮影スポット。電力マンの目線で、電柱設備を間近で見ることができます。

2020年度「第19回ちゅうでん教育大賞」の入賞者を発表

教育大賞には「総合学習「防災キッズになろう」」に関する論文が選出



「教育大賞」に選ばれた鶴田晴紀先生の様子の様子

地震体験、震災体験者や地元市役所防災担当者からの授業、地域の防災訓練への参加など、子どもたちの防災への意識を高める取り組みが実践された。

ちゅうでん教育振興財団は、中部電力の創立50周年を記念して2001年に設立され、子どもたちの豊かな「学び」を応援するため、各事業を行っています。

※論文はHPIに掲載されています。
<http://www.chuden-edu.or.jp/oubo/oubo2/kekka2020/main.html>

公益財団法人ちゅうでん教育振興財団の主催による全国の小・中学校で行われた教育実践の研究および成果をまとめた教育論文の中から優れたものを表彰する「ちゅうでん教育大賞」が実施されました。

「93件の全国からの応募の中から、大賞に選ばれたのは、『社会とのつながりを意識し、社会の一員として活動する児童の育成』5年総合的な学習「防災キッズになろう」の学習を通して」という愛知県安城市の二本木小学校での取り組みについての論文。

論文では児童の防災に対する関心の向上や自他の命を大切に思う思いやりの育成、災害時に家庭や地域の安全に役立つこととする意欲や態度を育むことを目標としており、防災の自分事化・態度化につながる丁寧な取り組みが高く評価されました。